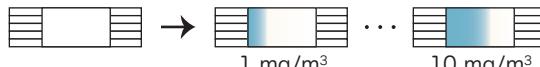


DT13 マスター系 (H、HD、HN-1、HN-2、HN-3)



実寸(約10cm)

感度	1 mg/m ³
吸引量	ハンドポンプ 30 回吸引(1 回 100 mL), 自動ポンプ 3 リットル(3L)
色変化	マスターが存在する場合: 白色から青色に変色します。  1 mg/m ³ 10 mg/m ³
反応原理	マスター[mustards]と4-(p-ニトロベンジル)ピリジン[4-(p-nitrobenzyl)pyridine]の反応 (アルキル化反応[alkylation reaction])
解説	検知管は1つの指示層と1つのアンプル(試薬溶液入り)で構成されています。指示層は4-(p-ニトロベンジル)-ピリジン[4-(p-nitrobenzyl)-pyridine]で飽和したシリカゲルが含まれています。アンプルには過塩素酸ナトリウム[sodium perchlorate]と水酸化ナトリウム[sodium hydroxide]が含まれています。
検出方法	①検知管の両端を折る。 ②ハンドポンプで30回(1回 100 mL)または自動ポンプで3L 空気を送る。 ③アンプルを割る。 ④よく振り、アンプル内の薬剤を指示層に浸す。 ⑤色の変化を確認する。
選択性	すべてのタイプの硫黄マスター[sulphur mustards]と窒素マスター[nitrogen mustards] (HN-1、HN-2、HN-3)を検出できます。同様に他の塩素化アルキル硫化物またはアミンを検出できます。高濃度のG シリーズの試薬と反応し、青色になります。ホスゲン[phosgene]およびジホスゲン[diphosgene]と反応すると赤色になり、クロロアセトフェノン[chloroacetophenone]と反応するとオレンジ色になります。
干渉性	ジメチル硫酸塩[dimethyl sulphate]と反応し、青色になります。ベンゾイルクロリド[benzoyl chloride]と反応し、オレンジ色または紫色になる。
温度	10~50 °C (10 °C以下では加熱が必要) 加熱するとより高い感度を示します。
湿度	依存せず(反応過程で水が含まれるため)